

SQIP研究会アンケート（過剰品質に関して）[所要時間10分程度]

現在SQIP研究会という日本科学技術連盟の研究会（研究コース1：ソフトウェアプロセス評価・改善）にて過剰品質に関して研究を行っており、そのなかで、仮説立証に向けたアンケートを実施させていただきますと幸いです。

アンケートはだいたい10分くらいで終わる想定です。

記載頂いた内容について研究目的以外で利用することはありません。

【研究のきっかけ・課題】

過剰な品質確認作業に陥りやすい開発プロセスの中での場面、およびその傾向や特徴を捉えて、品質確認作業を抑制し、本当に品質リスクの高い場所に品質確認リソースを集中して、開発者と品質管理者の双方の業務効率を向上させることを目的としています。

【アンケートの利用目的】

過剰品質は、開発現場の至る所で発生しており、開発現場の状況を可視化しQCD（品質・コスト・納期）を円滑にコントロールするために、開発プロジェクト管理が行われています。そこで開発現場の過剰品質を網羅的に捉えて可視化・特定するためには、開発プロジェクト管理を体系的に定義したPMBOKの各管理を活用するのが有効ではないかと仮説を立てました。

仮説を立証するために、PMBOKの10分類のうち【本研究における過剰品質の定義】の定義で外れたリスク管理、ステークホルダー管理と、QAの領域外として検討外とした統合管理以外の7つの分類について過剰品質になり得る要因を考えました。PMBOKから7つの分類で考えた点と、カテゴリごとに過剰品質要因として考えた内容が実態と合っているかを確認するためのアンケートになります。

【本研究における過剰品質の定義】

ユーザーの利用方法に適したシステム・ソフトウェア製品とそのサービスをタイムリーに提供するには不必要、ないし作業対効果の良くない開発・保守・運用のための品質管理作業（レビュー・テストなどの作業や内容を含む）のこと。

なお、以下の場合には本研究においては過剰品質のスコープ外とみなしています。

- ①外的要因（顧客要件など）で除外ができない品質確認作業
- ②特定のリスクを軽減する目的をもって実施する品質確認作業

*必須

あなたの属性に関して教えてください

1. 1-1. あなたのお名前のご記載をお願いします。*

2. 1-2. 現在関わっている、または関わっていた最近のプロジェクトにおける役割を教えてください*複数選択可*

当てはまるものをすべて選択してください。

- PM（開発）
- TL（開発）
- 主査（開発）
- 担当（開発）
- テスト管理者（QA）
- テスト設計者（QA）
- テスト実施者（QA）

その他: _____

3. 1-3. 品質保証の経験年数を教えてください*

1つだけマークしてください。

- 経験なし
- 5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上15年未満
- 15年以上

4. 1-4. マネジメント(プロジェクト管理)の経験年数を教えてください*

1つだけマークしてください。

- 経験なし
- 5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上15年未満
- 15年以上

5. 1-5. どのような開発プロセスを経験したことがありますか? *複数選択可*

当てはまるものをすべて選択してください。

- ウォーターフォール型
- アジャイル型
- スパイラル型
- インクリメンタル型
- イテレーティブ型
- その他 (WFとアジャイルのハイブリッドなど)

6. 1-6. 経験したプロジェクトで、結果として過剰に品質確認作業の実施を求めていた (求められた) 経験がありますか? *

1 つだけマークしてください。

- 経験がある
- 経験がない
- わからない

7. 1-7. 1-6の質問で「経験がある」と回答いただいた方に質問です、それはどのような経験ですか?

過剰品質に関する経験に関して教えてください

8. 2-1. スコープ管理：プロジェクトの性質（規模や重要度 etc）によらず、画一的な品質チェックおよび試験のレベルとなっていたため、規模が小さいもしくは重要度が低いシステムには過剰なチェックとなった

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
- 概ねそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 該当なし
- わからない

9. 2-2. スケジュール管理：開発スタイル（アジャイル、WF等）と品質管理プロセスがマッチしていない（タイムスケールが異なる開発に対して、品質チェックがあていない場合等） 例えば、開発はアジャイルで、品質管理プロセスがWFのスケジュールになっているなど

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
- 概ねそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 該当なし
- わからない

10. 2-3. コスト管理：コストが潤沢にあり、やらなくても良い確認もしくは重複した確認まで実施している

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

11. 2-4a. 品質管理：SLA/SLOなどの指標を定めていなかったため、常に最高の品質を保つための品質チェックになっていた（SLAとはService Level Agreementのことでサービス提供者が利用者に対して、どのようなサービス内容で提供するのかを定義した契約のこと。Service Level Objectiveはサービスレベルの目標値であり、サービス品質として保証するものではない。）

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

12. 2-4b. 品質管理：チェック項目の肥大化により過剰な品質確認作業になった（例えば、過去に何年も不具合が出ていないケースを毎回テストし続けている）

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

13. 2-5. 資源管理：プロジェクトに習熟したメンバーが継続して関わっているのに、立ち上げ時と同等のプロセスで品質を追求した（求められた）ため、過剰品質になった

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

14. 2-6. コミュニケーション管理：連携する他システムを開発するチームとのコミュニケーションが不足していたことにより、確認範囲が重複するなどして過剰品質となってしまった

1 つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

15. 2-7. コミュニケーション管理：開発側とQAチームとの情報連携が不足していたため、適切なテラリングができず過剰品質となってしまった 例えば、「開発チームとしてそもそもQAに入り込んでもらうと品質審査が厳しくなるという思いがあり、あまり情報を出していない」や「QAチームから開発側に改修範囲についてヒアリングする機会を設けなかった、または機会があっても明らかにならなかった」など

1つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

16. 2-8. 調達管理：安心感を得るため製品全体の要求品質と比較して過剰な品質確認作業の実施をベンダに求めていた(求められた)

1つだけマークしてください。

- かなりそう思う
 概ねそう思う
 あまりそう思わない
 まったくそう思わない
 該当なし
 わからない

17. 3-1. PMBOKのプロジェクト管理の知識エリアの中で、どのエリアが過剰な品質確認作業をもたらす原因となりやすいと考えますか？上位3つを選んでください*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 統合管理
 スコープ管理
 スケジュール管理
 コスト管理
 品質管理
 資源管理
 コミュニケーション管理
 リスク管理
 調達管理
 ステークホルダー管理

18. 3-2. 過剰な品質確認作業をもたらす原因となりやすいこととして、どのようなことがあると思いますか？ 2-1から2-8で回答いただいた内容と重複する内容でもかまいませんので、思い当たることがあればご回答ください。 *
